

チームごっくん

ニュースレター

摂食嚥下とは食べ物を認識してから口を經由して胃の中へ送り込む一連の動作の事です。その一連の動作を「**先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期**」の5つに分けられます。今回、先行期・準備期についてお伝えします。



①先行期…食べ物を認識してから口に入れるまでの段階

- 食欲を感じる、唾液の分泌、消化管の運動を促すなどに繋がる大切な段階。
- 認知機能や意識レベルが低下していることにより障害されます。

先行期が障害されるとどうなる？

- 原因として認知症や脳血管障害後遺症などがあります。薬剤では抗不安薬・抗けいれん薬の副作用が原因になることがあります。
- 視覚、触覚、運動機能の障害により食べ物を口に運べない、自分で食べることができないといった症状があり、またどう食べるのか、食べたのかどうか分からないなどの症状も含まれます。



②準備期…取り込まれた食物を噛み砕き唾液と混ぜ飲み込みやすくする段階

- 歯や舌を使い噛み砕くことで唾液と混じり飲み込みやすい形を作ります。

準備期が障害されるとどうなる？

- 脳血管障害後遺症や神経筋疾患による舌、下顎、頬、口唇の運動障害があると十分に形が形成されず飲み込みづらくなります。
- 多数の歯の欠損、義歯の不適合、抗精神病薬による副作用が障害の原因ともなります。
- きちんと歯の欠損部位に対する治療を受けることで咀嚼機能を回復することができます。